



美しい自然広がる紙漉きの里、福井県越前市、  
その山の奥深く、人知れず眠る謎の穴「へそ」があった!?  
今、時空を超えて、人類の存亡を賭けたちっぽけな闘いが始まる!

# HESO MORI



— へそもり —

オール  
福井県内ロケ!!

監督・脚本 入谷朋視

永島敏行 渡辺いっけい 石丸謙二郎 中村育二 佐野史郎  
谷村美月 烏丸せつこ 中西良太 谷田 歩  
村田雄浩 若林 豪



総合プロデューサー:伊藤仁一郎 プロデューサー:木村昭宏/藤原慎二

音楽:遠藤浩二 撮影:寺沼範雄 美術:藤原慎二 照明:山川英明/森谷清彦 録音:沼田和夫 助監督:桑原昌英

後援:国土交通省観光庁/福井県ブランド営業課/越前市産業環境部産業政策課/越前市産業環境部商業・観光振興課/福井県和紙工業協同組合/越前市まちづくりセンター/五箇まちづくり協議会

支援:福井市商工労働部観光開発室/福井商工会議所/越前市商工会 特別協力・特別出演:若野平三郎(福井県無形文化財) キャスティング:上谷忠

主催・企画・制作:(株)RIKU 共催:財団法人越前市文化振興・施設管理事業団 制作協力:株式会社ハビッツ 製作:HESOMORI製作委員会

©2011.HESOMORI製作委員会

HESOMORI 公式ホームページ <http://hesomori.net/>



へそを守るからへそもりや！  
悪人に利用されんように、代々守ってきたんや！

# へそ

今も昔も変わらない人の心と思いやり、  
そして愛情あふれる友情ファンタジー!!

美しい自然が広がる和紙発祥の地、福井県越前市、その山奥深くに、人知れずひっそりと眠る謎の穴(日本のへそ)があった。その穴(へそ)の秘密は1500年もの間"へそもり"によって代々守られていた。

今から40年前、越前和紙の紙漉き職人・たけじい(若林豪)の孫、当時10歳のさとし(永島敏行)と、うっちゃん(渡辺いっけい)、エズ(石丸謙二郎)、井口(佐野史郎)、おっさん(中村育二)の仲良し5人組はひょんなことから、不思議な洞と穴(へそ)に遭遇する。好奇心旺盛な少年たちは、その穴(へそ)の探検をはじめが……いつの間にか、幕末の時代に迷い込み、異国人と間違えられ、あやうい所を、たけじいに助けられる。「たけじい」とは、これまで1500年もの間、代々その穴を守ることを秘かに受け継がれてきた"へそもり"なのであった!

40年後、さとしは紙漉きを継ぎ、他の4人も立派に普通のおじさんとなり、それぞれの生活を送っていた。そんなある日、事件が起きた。世間には絶対に知れてはならない穴(へそ)の存在が、何者かによって気づかれてしまった。たけじいから"へそもり"を受け継いでいたさとしは、ほかの人間に悪用させない為にも、絶対にその穴(へそ)の秘密を守らなければならなかった。幼友達とさとしの娘・リコ(谷村美月)、そしてたけじいたちの闘いが始まった。

しかし、近づく皆既月食の晩、さとし達はついに重大な決断を迫られることとなった。果たしてその決断とは? そして、たけじいが最後に取った行動とは!?

## 越前和紙とは?

日本三大和紙の一つである越前和紙は、今から1500年前から伝わる技術と、他の生産地にはない和紙の種類豊富さにより、和紙の良さを生かしつつも表面が滑らかで均一であり、紙厚(かさ)がしまった紙である。襖紙、小間紙、奉書紙、檀紙、証券紙、面仙紙など豊富な種類があり、特に奉書や鳥の子は高い評価を得ている。

## 岩野平三郎 紙漉き職人役 (福井県無形文化財)

和紙職人。福井県出身。立命館大学経済学部卒業後紙漉きの修行に入る。1975年福井県無形民俗文化財の指定を受ける。1979年第3代岩野平三郎を襲名。1982年桂離宮の「昭和の大修理」に使われた越前和紙を漉きあげ、吉田五十八記念芸術興財団特別賞受賞。越前和紙古来の紙漉き模様である「打雲」「飛雲」「水玉」の技術を今に継承する。その手によって漉かれた紙は、平山郁夫画伯、東山魁夷画伯といった多くの日本画家に愛用されている。

お待たせしました!! 9月3日(土) 全国最速公開決定!

西武福井店とせり

テアトル サンク

0776-23-2706

R-8館、アルプラザ鯖江内

鯖江アレックスシネマ

0778-54-7720

教員駅前・アルプラザ教員内

敦賀アレックスシネマ

0770-25-3737